

都市再生整備計画 事後評価シート
西部地区

平成29年3月

茨城県牛久市

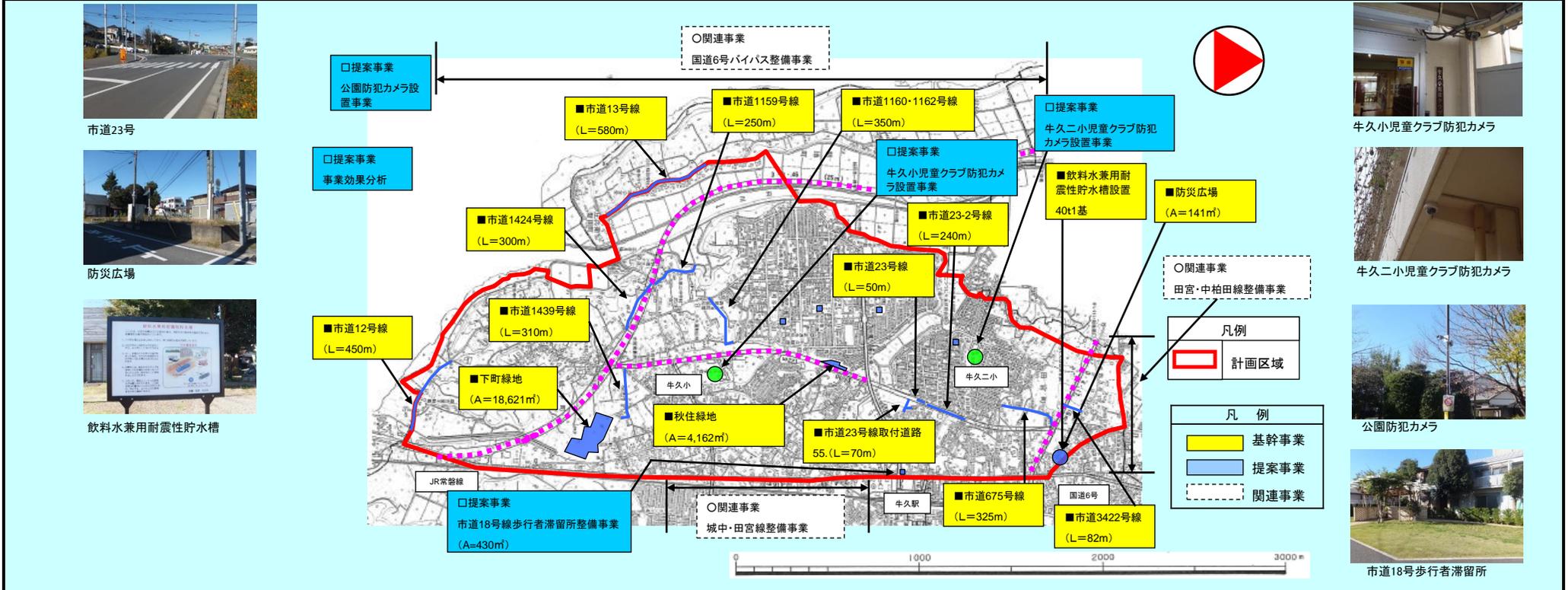
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	牛久市		地区名	牛久市西部地区		面積	467.1ha			
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	1,033.2百万円		国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道13号線、市道23号線、市道675号線、市道23-2号線、市道23号線取付道路、市道12号線、市道1439号線、市道1424号線、市道1159号線、【地域生活基盤施設】下町緑地、飲料水兼用耐震性貯水槽										
		提案事業	【地域創造支援事業】防犯カメラ設置事業(牛久小児童クラブ、牛久二小児童クラブ)、【事業活用調査】事業効果分析										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	-		-				-				
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】市道1160・1162号線、市道3422号線、【地域生活基盤施設】秋住緑地、防災広場		【道路】道路環境改善のため追加 【生活基盤施設】秋住緑地：雨水排水改善のため追加、防災広場：防災対策のため追加				【道路】指標「道路改良率」に影響するため、目標値を変更した 【生活基盤施設】秋住緑地：指標2「道路冠水箇所数」に影響するが目標値は据え置き、防災広場：影響なし				
提案事業		【地域創造支援事業】防犯カメラ設置事業(公園四力所)、市道18号線歩行者滞留所整備事業(牛久市田宮町地内)		【地域創造支援事業】防犯カメラ設置事業：公園環境改善のため追加、市道18号線歩行者滞留所整備事業：道路環境改善のため追加				【地域創造支援事業】防犯カメラ設置事業：指標5「公園に関する満足度」を追加した、市道18号線歩行者滞留所整備事業：影響なし					
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	道路改良率	%	55.4	H23	60.3	H28	-	55.9	×	あり	道路整備事業の実施により、道路環境の改善について一定の効果が得られたが、未整備の道路もあり、道路改良率について目標を達成できなかった。	H30年3月
											なし		
	指標2	道路冠水箇所数	箇所	9	H23	7	H28	-	9	×	あり	雨水調節機能を持つ緑地整備事業等が繰越となり、事業が完了しておらず、道路冠水箇所について目標を達成できなかった。	H30年3月
											なし		
	指標3	災害時の飲料水の確保量	ℓ/人	5.7	H23	6.0	H28	-	8.0	○	あり	飲料水兼用耐震性貯水槽を設置することで、住民が利用できる災害時の飲料水の確保量について目標を達成できた。	H29年3月
なし													
指標4	保護者安心度	%	58.7	H23	64.5	H28	-	67.6	○	あり	小学校の放課後児童クラブにおける防犯カメラ設置事業の実施により、安全・安心に活動できる環境が整備され、保護者安心度について目標を達成できた。	H29年6月	
										なし			
指標5	公園に関する満足度	%	68	H25	70	H28	-	66	×	あり	防犯カメラ設置事業により、公園の安心・安全な環境整備に貢献したが、公園に関する満足度について目標を達成できなかった。	H29年6月	
										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度*1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	-		-		-		-		-	-	-	-
4)定性的な効果発現状況	なし												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた										
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた											
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた											
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

牛久市西部地区(茨城県牛久市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 市民が安心して生活できる安全な生活基盤と優良な生活環境を確保するためのまちづくりを推進する。 目標1: 道路整備により、生活道路の危険箇所の解消や渋滞解消等交通アクセス条件の向上を図る。 目標2: 近年の異常気象による集中豪雨等に対応する雨水対策を講じる。 目標3: 災害時における応急対策の円滑化を図る。 目標4: 小学校の放課後児童クラブにおいて、より安全・安心に活動できる環境を整備する。 目標5: 地域のコミュニティスペースである公園において、より安全・安心に利用できる環境を整備する。	道路改良率	単位:%	55.4	H23	60.3	H28	55.9	H28
	道路冠水箇所数	単位:箇所	9	H23	7	H28	9	H28
	災害時の飲料水の確保量	単位:ℓ/人	5.7	H23	6.0	H28	8.0	H28
	保護者安心度	単位:%	58.7	H23	64.5	H28	67.6	H28
	公園に関する満足度	単位:%	68	H25	70	H28	66	H28



まちの課題の変化

- ・主要な幹線道路である国道6号の一部では慢性的な交通渋滞が発生しており、一方で市道の多くは幅員が狭く舗装率も低い状況にあり、緊急性の高い地区から計画的に整備を進めていく必要があったが、市道の道路舗装整備等により、道路環境が改善された。
- ・近年の集中豪雨に対し雨水排水の既存施設の能力が不足し低地部を中心に浸水被害が発生していたが、雨水調節機能を持つ緑地整備事業等が繰越となり、道路冠水箇所の削減は持ち越した。
- ・地震等への対応強化を中心に、様々な災害への備えを地域の実情に応じてきめ細かく実行していくことが必要であったが、飲料水兼用耐震性貯水槽を設置することで、住民が利用できる災害時の飲料水の確保量が増加した。
- ・少子化の流れが加速している中で、核家族化によって子育てに関する不安や悩みを抱えている家庭も多く、地域全体での子育て環境づくりを進める必要があったが、小学校児童クラブ施設への防犯カメラの設置により、利用者の不安解消や安心度向上が図られ、子育て環境づくりが進んだ。
- ・安全・安心な地域社会の実現のため、体感治安を改善し、市民が安全・安心を実感できる防犯環境整備を進める必要があったが、公園への防犯カメラの設置により、利用者の不安解消や防犯環境向上に貢献した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・市道の道路環境の改善: 道路環境の改善が必要な箇所について早期の整備促進を図るとともに、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進め、歩行者・自転車に配慮したグリーンロードの整備を推進する。
- ・道路冠水箇所の削減: 繰越事業の早期実施。
- ・子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場の提供: 公共施設や保育園等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施する。
- ・市民の体感治安の改善: 防犯対策事業に加え、それら市の防犯対策を発信し、市民の安心度を向上させ、犯罪抑止にもつなげる。